

民主党 東京都議会議員

大西 さとる

2014. 12. 24発行

Vol. 97

『議会レポート

都議会民主党政策調查会 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 話 03-5320-7230 FAX 03-5388-1784

衆議院選挙の結果について

民主党は、73議席(選挙前62議席)と微増。しかし、自民党は291議席を獲得する 圧勝で、35議席の公明党と合わせて全議席の3分の2(317議席)を再び上回る議席 を獲得しました。今回の総選挙における厳しい結果は、国民からのアベノミクスに 対するある程度の評価と民主党を中心とする野党による対案が提示できなかった ことに加え、野党の選挙協力が選挙直前であり体制が整わなかったことと低投票率 などが影響し、このような結果に繋がったのだと思います。

私も、東京13区にて公認候補である「長谷川たかこ」氏の議席獲得のために全力 で闘って参りましたが、当選させることができず残念です。しかし、意気消沈した ままでなく前進していかなくてはなりません。大勝し、さらに傲慢になるであろう 自民党に対し、私も、しっかりと皆様の代弁者として発言して参る所存です。 今後ともよろしくご指導、ご支援お願い申しあげます。



東京13区選挙結果



長谷川 たかこ 43.028 民主党 113, 036 かもした 一郎 自民党 当選 そぶえ 元希 35, 518 共産 11.915 和田 ともゆき 次世代

たくさんのご支援ありがとうございました。 これからも頑張り続けます。

平成26年第4回定例議会報告

五輪施設は大会後を見据えた整備を! 感染症対策はあらゆる事態に備えよ!

平成26年第4回都議会定例会が、11月28日に開会しました。今定例会は、衆議院選挙の影響を受け、開会 はしたものの、代表質問、一般質問、委員会審議は全て衆議院議員選挙以後に延期されることとなり、閉会 日は25日に変更されました。今定例会では、燃料電池車の早期普及に向けた水素ステーション設備等を導入 する補正予算や、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の恒久施設の見直し、エボラ出血熱や結核など の感染症対策等について、議論を行いました。

都議会民主党は、近年東京で起こっている土砂災害への対策をはじめ、全国最悪の救急搬送時間の短縮 、児童虐待防止、非正規雇用で働いている人たちへの支援策などの課題についても、積極的に質疑・提案を 行っています。

感染症はあらゆる事態に備え 都民不安の払拭を

墨東病院など3病院でエボラ出血熱対応訓練が行われました。都議会 民主党は、西アフリカへの渡航後の都民が発熱し、地域の医療機関を直 接受診することや、発症者等が入院可能人数を超える、長期化する等、 想定し得るあらゆる事態に備え、都民の不安を払拭していくべきと訴えま した。知事は、エボラ出血熱の正確な情報を都民に正しく理解していただ



けるよう、様々な広報を通じて周知するとともに、関係機関との連携を一層強化し、対策に万全を 期すと答えました。

結核など空気感染症への 備えも怠るな

昨年、日本では、結核によってインフルエンザ死亡者数を超える2817人が亡くなり、年間2万人以上が発病するなど、欧米先進国に比べ結核にかかる確率が高くなっています。結核は、免疫力が低下した高齢者においては重症化する危険はより高くなり、適切な対応が求められます。

都議会民主党は、都民に結核の知識を伝え、早期発見・予防を心がけるとともに、特に高齢者施設の管理者に対する啓発を行っていくことを求めました。都は、今なお都内で多くの結核患者が発生しており、都民に結核に関する正しい知識を伝えるとともに、高齢者施設の感染対策に関する研修を行う等様々な啓発活動を実施し、患者の減少に努めると答弁しました。

五輪施設は大会終了後も都民が活用するレガシーとせよ

舛添知事は、東京大会の増大した施設整備費を大幅に削減するため、ロンドン五輪・パラリンピック会場を視察し、会場計画の見直しを行っています。そこで、施設整備は、知事のロンドン視察を踏まえ、大会終了後のビジネスモデルを確認し設計を行い、末永くレガシーとして残すべきと訴えました。 舛添知事は、ロンドン視察では、施設は競技スポーツだけでなく、イベントの開催など多目的な活用を進めており、収益確保につながるよう工夫を行っていたと述べました。そして、都も民間から後利用提案を募集し、「レガシー委員会」で更に検討するなど、都民に末永く活用されるよう施設整備を進めると答弁しました。

都議会民主党は、競技施設の後利用において、公園など周辺との一体的な運営も求めています。

水素エネルギーの普及

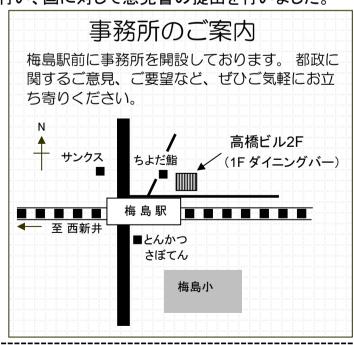
水素と酸素を反応させる燃料電池車の普及について、都は、独自の促進策を盛り込んだ補正予算を今定例会に提出しました。

これは、水素を使用し走行できる水素燃料電池車が発売されるにあたり、その利用が爆発的に増えるように都として応援するものです。その内容は、現在700万円程度で売り出される燃料電池車に国が200万円補助金を出すことになっていますが、これに都として別に100万円補助する予算と、整備が必要不可欠な水素ステーション整備を促進するものです。この施策により水素で走る車を約400万円にて購入することができ、15分程度の距離にステーションが整備されることになります。

大西さとる議員は、所属する環境建設委員会に おいて、更なるステーションの整備促進などを提 案し、五輪開催時には多くの水素燃料電池車が 走る東京の実現を求めました。

野球・ソフトボール・空手の開催を求めて

東京都議会では、2020年東京大会における野球・ ソフトボールと空手道の競技実施を求める決議を 行い、国に対して意見書の提出を行いました。



東京都議会議員 大西さとる事務所

〒121-0816 足立区梅島1-12-6 高橋ビ2F Tel 03-3849-7847 Fax 03-3849-7846

HP http://onishi-satoru.jp E-mail satoru@onishi-satoru.jp 大西さとる 検